

(様式1)

自 己 評 価 表

(愛媛県立小松高等学校)

学校番号(11)

グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）	カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）
○自ら考え、行動できる力 ○他者を尊敬ある存在として尊重しあい、協働できる力 ○課題の発見とその解決のための筋道を思考・判断できる力 ○「積微力行」の精神で、粘り強く努力できる力 〈普通科〉 ○豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができる力 〈家庭科〉 ○地域の生活産業や少子・高齢社会の福祉ニーズを支えることができる力	○1学年では、共通の科目を学習し、個々の総合的な適性を伸ばすための基礎力を身に付けます。 ○ICTの効果的な活用や習熟度別講座・少人数指導により、基礎・基本を重視した分かる授業を展開します。 ○授業において、主体的に考える場面や他者と協働して課題解決を図る場面を設定し、思考力・判断力・表現力を育成します。 ○生徒主体の学校行事や部活動、生徒会・委員会活動、ボランティア活動を充実させ、豊かな人間性を育みます。 〈普通科〉 ○2学年以降では、進路希望にあったコース(文理探究・キャリア探究)を選択して、興味・関心の高い分野の科目をじっくり学び、進路実現に向けた実践力を身に付けます。 ○個に応じたキャリア教育を充実させ、進路実現を図ります。 〈家庭科〉 ○2学年以降では、進路希望にあったコース(ライフデザインコース・ヒューマンサービスコース)を選択し、実践的・体験的な学習を通して専門的な知識や技術を確実に身に付けます。 ○家庭科技術検定、介護職員初任者研修、地域との連携・交流を通じた実践的な学習活動の充実を図り、専門性を高めます。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
学習指導	家庭学習の充実	一定時間机に向かう習慣が定着するよう、各教科でICT活用など課題の工夫や個に応じた指導を行うとともに、各HR・学年で学習への意識高揚を図り、1日2時間以上の家庭学習時間を目指す。 A:2時間以上、B:1.5～2時間、C:1～1.5時間 D:0.5～1時間、E:0.5時間未満			
	教科指導力の充実	教科内及び教科間の情報交換や学習評価に関する研究を継続・発展させ、ICT活用などにより主体的・対話的で深い学びとなるよう授業の満足度や学習意欲を高め、授業の改善を進める。 全員がICTの活用を研究、実践し、有効活用に努める。			
		校内研究授業や相互参観授業で、年間4回以上授業を参観して、教科会や学年会などの研修も踏まえて授業力向上に努める。 A:4回以上、B:3回、C:2回 D:1回、E:0回			
	資格取得の奨励	各種検定の1級合格者延べ50人以上を目標に、個別指導等の徹底や資格取得への意識を高めることにより、上級資格取得の奨励に努める。基礎・基本、実務に役立つ2・3級の合格者を増やす。 A:50人以上、B:40～50人、C:30～40人 D:20～30人、E:20人未満			
生徒指導	基本的生活習慣の確立	生徒の変化の兆候を早めに把握し、個に応じたきめ細かな生活指導と家庭との連携によって、 <u>5分前登校指導を徹底し</u> 、全校出席率98%以上を維持する。 A:98%以上、B:96～98%、C:94～96% D:92～94%、E:92%未満			

※ 評価は5段階(A:十分な成果があった B:かなりの成果があった C:一応の成果があった D:あまり成果がなかった E:成果がなかった)とする。

生徒指導	生徒理解の推進	生徒一人当たり年間4回以上の面接指導を通して、生徒理解と指導に努める。 A: 4回以上、B: 3回、C: 2回 D: 1回、E: 0回			
	環境整備への主体的な取組	環境美化への意識を高めさせ、清掃時間だけでなく、普段から校内美化に努める。地域行事にも主体的・積極的に取り組む態度を養い、奉仕の精神を育む。			
	ルール厳守とマナー向上	交通安全指導において、ヘルメットの着用をはじめ、命の大切さについての指導を行う。交通ルールを遵守し、マナーを向上する態度を育成し、交通事故ゼロを達成する。			
進路指導	個に応じた進路保障	学年団と進路課が連携をとりながら、1年次から進路意識を高める指導を継続的に行い、充実した家庭学習に努めさせる。学力の向上を図りつつ多様な入試（小論文、集団討論、プレゼンテーション等）に対応した力を育成することで、進路満足度100%を目指す。 A: 100%、B: 90～100%、C: 80～90% D: 70～80%、E: 70%未満			
	進路指導力の向上	学校説明会等に参加するなど、入試改革や学部・学科変更等の情報収集を行い、校内のネットワークシステムや教科会、学年会等を通して全体で共有する。			
	キャリア教育の推進	キャリアパスポート、2年時のインターンシップや2・3年時の就職指導、また、就職フェアへの参加、デジタルサイネージの活用等を通し、生徒が自ら考え、行動する力を育む。2年次からのコース選択に合わせて、それぞれの特長を生かせる指導を行う。			
特別活動	部活動の充実	運動部各部において、計画的により充実した指導をし、3年間部活動を継続できる生徒を増やしていく。県総体出場70人以上を達成する。 A: 70以上、B: 55～70人、C: 40～55人 D: 30～40人、E: 30人未満			
		文化部各部において、計画的により充実した指導をし、3年間部活動を継続できる生徒を増やしていく。また、愛媛県高等学校総合文化祭等において、3つ以上の部と総計20人以上の参加を目指す。 A: 3つ以上の部で20人以上参加 B: 3つ以上の部で15人以上の参加 C: 2つの部で15人以上の参加 D: 2つの部で15人未満の参加 E: D評価に届かない場合			

※ 評価は5段階(A: 十分な成果があった B: かなりの成果があった C: 一応の成果があった D: あまり成果がなかった E: 成果がなかった)とする。

特別活動	生徒会活動・家庭クラブ活動、委員会活動の活性化	生徒の自主的な計画・運営による生徒会活動、委員会活動、家庭クラブ活動をそれぞれ月１回以上実施し、更なる内容の向上を目指す。 活動を通して、お互いのよさを尊重し生かし合って協働する力を養う。			
	自主的な奉仕活動	年間５回以上の奉仕活動、地域清掃活動を目指し、豊かな人間性の育成を目指す。生徒への各種ボランティア活動案内を広めると同時に、ボランティア体験の発表会等も行うことで、生徒全体の参加意識を高める。また、生徒全体の参加意識を高め、地域に貢献しようとする態度を養う。 A：５回以上、B：４回、C：３回 D：１～２回、E：０回			
同和・人権・教育	人権・同和問題学習の積極的推進	人権・同和教育ホームルーム活動を充実させるとともに、人権課題に対する生徒・保護者への啓発に努める。現地研修会や市民の集いなどの対外的な活動へ積極的に参加し、生徒が主体的に人権問題を解消する実践力を身に付けさせる。			
広報・地域協働	地域に開かれた学校づくりの推進	「学校案内」や「ライフデザインだより」等の発行物で必要情報を伝え、ホームページでよりタイムリーな情報発信を行う。 学校行事や校外活動において、生徒の活躍の場や主体的に活動できる場面を増やし、より地域に開かれた教育活動を目指す。			
	地域に根ざした特色ある学校づくりの推進	P T A・同窓会や地域の諸団体と協力し、「総合的な探究の時間」や課題研究で、地域人材を活用した体験学習を実施する。 地域の「歴史、文化、教育」を知ることで、地域を誇りに思い、地域に貢献できる人材育成の研究を行い、地域に根差した教育を展開する。 S D G sの観点で踏まえた授業や地域と協働した地域貢献活動等を積極的に実施し、特色ある学校づくりに努める。			
業務改善	適切な勤務時間	会議等の見直しやＩＣＴ導入で業務の効率化・平準化を図ることにより、勤務時間の適正化に努めるとともに、年休取得やテレワーク、早出・遅出勤務等の活用を促すことにより、ワーク・ライフ・バランスの充実に推進する。			
	職場環境の整備	月１回の衛生委員会において、教職員の健康や学校安全に関する情報共有を密に行う。 職場の整理整頓等により、より働きやすい環境作りを目指す。			

※ 評価は５段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。